

# 民見協だより

2023年  
3月1日  
No.70

## 主な内容

- ◆入間市民生委員・児童委員  
委嘱状伝達式・感謝状贈呈
- ◆入間市民生委員・児童委員  
の新体制 他



入間市民生委員・児童委員協議会  
入間市豊岡1丁目16番1号 入間市役所福祉総務課 TEL2964-1111

会長 江口哲郎

## 感謝状贈呈及び委嘱状伝達式



令和4年12月16日  
入間市役所において入間市民生委員・児童委員委嘱状伝達式が開催されました。  
ご来賓列席のもと入間市長より新任者64名、再任者175名の代表者が委嘱状の交付を受けました。

## 3年に一度の入間市 民生委員・児童委員 委嘱状伝達式

## 入間市民生委員・児童委員 臨時総会(体制も新しく)

◆入間市民生委員・児童委員協議会

会長 江口 哲郎

副会長 荒井 正武

副会長 星野 ふみ子

◆地区の民生委員・児童委員協議会会長

豊岡第一地区会長 石川 和子

豊岡第二地区会長 荒井 正武

豊岡第三地区会長 米山 みどり

東金子地区会長 星野 ふみ子

金子地区会長 上原 賢治

宮寺・二本木地区会長 山崎 雅夫

藤沢第一地区会長 江口 哲郎

藤沢第二地区会長 松石 京子

西武地区会長 滝沢 歎吾

## 入間市民見協会長に就任して

入間市民生委員・児童委員協議会

会長 江口 哲郎

令和4年12月16日、感謝状贈呈と委任状伝達式がございました。前会長の白井さんを含め76名の退任された方々、長い間地域福祉の充実に貢献頂きました。本当にありがとうございました。そして、お疲れ様でした。感謝申し上げます。  
さて、少子高齢化社会が進む中で、私達民生委員の対象となる方々は、一人暮らしを含む高齢の方・障がいのある方、

若者・幼児等、幅が広く、取り組む課題も多岐にわたっています。

今回の改選で交代した新たな委員は、入間市民見協の全員の約30%です。退任された前任者の活動を着実に引き継ぐとともに、新たな委員の感覚を取り入れて、この多岐に亘る地域福祉の増進に向けて、新たな一歩を進めてまいります。

私達民生委員の活動は、入間市9地区民見協における、一人一人の担当区域の活動の積み重ねであります。それは、住民の生活上の様々な相談に応じ、行政をはじめ適切な支援やサービスへの「つなぎ役」として、また「見守り」や「安否確認」を果たすことです。この役割を誠実に自



信をもって行なうことです。

それには、今にも増して市役所の各課・とりわけ福祉部の各課、社会福祉協議会、地域包括支援センター等関係機関との密接な連携が不可欠だと考えます。

総勢252名の入間市民見協委員一人一人は「健康」と「安全な活動」に留意するとともに、委員相互の支え合いを大切にして活動したいと考えます。



感謝状の贈呈

令和4年12月16日入間市民生委員・児童委員の退任者76名の方々へ厚生労働大臣・埼玉県知事・入間市長からの感謝状が贈呈されました。



今回退任された方々 (敬称略)

- (豊岡第一地区) 田場 千恵子 渡邊 金一
- 白水 翠 齊木 安雄
- 鈴木 正敏 亀谷 容子
- 青木 小夜子
- (豊岡第二地区) 田中 俊明 須川 邦之
- 池島 貴久子 濱名 幹子
- 井澤 光子 里見 あい子
- 肥海 千鶴子
- (豊岡第三地区) 坂口 和子 林 純子
- 忍足 俊二 須田 邦夫

- 浅見 慎一 大山 久子
- 岡田 千代子 野村 善昭
- 高倉 仁一 岡村 眞里子
- (東金子地区) 星 ちえ 粕谷 喜朗
- 小濱 敏子 黒米 政博
- 齊藤 博 羽田 眞由美
- 金澤 弓子
- (金子地区) 書間 智恵子 書間 郁夫
- 森田 祥子 丸野 弘子
- 中島 栄 丸山 喜弘
- (宮寺・二本木地区) 長谷川 敏夫 増田 武志
- 近藤 富子 水村 由高
- 田中 和江 小澤 清志
- 岡崎 幸子 古谷 仁
- 関谷 久男 岡田 孝子
- (藤沢第一地区) 齋木 宏之 関谷 良藏
- 木下 カズエ 齋藤 八郎
- 杉原 まき子 齋藤 清一
- 齋藤 得三
- (藤沢第二地区) 結城 國夫 佐藤 由美子
- 児島 悦子 秋山 京子
- 松下 美代子 白井 秀
- 枝川 隆
- (西武地区) 田中 洋子 塩田 昶子
- 久住 正平 築地 芳枝
- 濱野 敏子 浅地 静正

- 田中 美紀子 大槻 勝義
- 津島 恒生 小池 美枝子
- 斧澤 靖夫 畠山 勝行
- 松永 厚子 石田 憲治
- 鈴木 由利子
- 長い間お疲れ様でした
- 令和4年度埼玉県民生委員・児童委員功労章受章者
- 深井 勝子 成沢 富雄
- 池島 貴久子 浅見 祐美子
- 高橋 佐知子 小濱 敏子
- 竹下 郁代 上原 賢治
- 岡崎 幸子 江口 哲郎
- 結城 國夫 白井 秀
- 中村 玲子
- 令和4年度埼玉県社会福祉大会
- ・知事表彰
- 田中 晴江 山代 かね子
- 石川 和子 生田 由紀子
- 水村 由美子 小島 悦子
- 坂口 和子 大月 秀子
- 戸谷 明代 池田 礼子
- 金澤 弓子 丸山 喜弘
- 増田 武志 津島 恒生

令和4年度の表彰者の紹介

入間市社会福祉協議会福祉大会表彰者

- 宮下 朝子 書間 智恵子
- 渡邊 金一

- ・大会会長表彰
- 三浦 佳美 築田 なをみ
- 鹿倉 孝 山下 恵久子
- 野口 泰子 水村 安代
- 林 純子 須田 邦夫
- 黒田 毅 浅見 慎一
- 岡田 千代子 高倉 仁一
- 岡村 眞里子 矢口 幸子
- 山内 修一 書間 秀子
- 竹野谷 久江 久保 浄子
- 鈴木 豊 木下 カズエ
- 秋山 京子 滝沢 歎吾
- 平岡 芳太郎 石田 憲治
- 令和4年度全国社会福祉大会全社協会会長表彰
- 比留間 ふじ 築地 芳枝
- 第91回全国民生委員児童委員大会
- ・永年勤続単位民生委員児童委員協議会会長表彰(単位民協会長として14年以上)
- 白井 秀
- ・永年勤続単位民生委員児童委員協議会役員表彰(副会長、会長、副会長通算17年勤続)
- 大山 久子
- ・民生委員・児童委員功労者表彰(20年勤続)
- 羽田 眞由美 橋本 敏子
- 鈴木 敏夫 阿久津 紀子
- 築地 芳枝 濱野 敏子
- ・永年勤続民生委員・児童委員表彰(10年勤続)
- 中島 栄
- 令和4年度入間市有功表彰
- 山本 正次
- (敬称略)



## 暮らしの中の民生委員・主任児童委員の活動

### 入間市の民生委員・児童委員の活動を振り返って

入間市民児協前会長 臼井 秀

平成28年12月、会長職を拝命、令和4年11月退任となりました。二期6年入間市民児協の舵取りをさせて頂きました。

地域の皆さま、関係機関の皆様方には、大変お世話になりました。平成29年は、民生委員制度百周年となる節目の年でした。それぞれ困難な時代の波の中、苦しみ、悲しみを感じながら、強い使命感を持ち、少しでも良い社会になるべく、情熱と努力を重ねてきた活動の歴史と言っても過言ではありません。

今日、急速に進む少子高齢化や、社会生活の変化の中で、様々な課題が顕在化、また、水面下での進行課題など多くあります。

令和2年早々、新型コロナウイルス



スガ、爆発的に世界中に流行、現在も収束とはなりません。支援を必要としている方々が安

心・安全に暮らしていける様、住みやすい街づくりの一翼を担うことをこれからの入間市民児協に期待します。

### 日々の中で 経験談

入間市民児協副会長

(豊岡第二地区) 荒井 正武

こんにちは、皆さん健やかな日々をお過ごしのことと思います。さて、いつも穏やかな日々を願っていますが、残念な事例もあります。

一人暮らしの高齢の方で、とても明るく元気な方でしたが、ある日、身内の方から、いつもの連絡が取れない、様子を見てほしいとの要請が市役所に入り、私に依頼が来しました。すぐに仕事を離れて現地に行きましたが、ドアが開かない、市の職員さんや近くの民生委員仲間にも来てもらいました。大家さんに鍵を開けていただき、中に入るとその方が倒れていました。すぐさま救急車を手配、その時は一命を取り留めましたが、数日後に亡くなられたとのことでした。

早く発見処置ができていたなら、再び元気な笑顔に会えたのでは、と思います。

こうした事態に少しでも早い対応ができるように、身内の方との連絡方法や、緊急通報システム、意識不明の時に救急隊にわかるように情報

を入れておく救急キット等を備えておくの良いです。市役所や地域包括支援センターで対応してくれます。

こうしたことに限らず民生委員は支援のつなぎ役です。どうぞ気軽に声を掛けてください。終わりに皆様の健やかな日々をご祈念申し上げます。

### 主任児童委員の活動

入間市民児協幹事(前主任児童委員部会長) 米山みどり

主任児童委員の活動で一番大切にしていることは「連携」です。

子どもの相談の窓口となる主任児童委員は学校、保健師及び行政など関係機関と連携を密にして、問題解決へのパイプ役として、市内各地区計18名が活動しています。

その一つの活動として、乳幼児健診未受診者の家庭訪問があります。

これは保健師の依頼に基づき、お母さんやお子さんと直接話し、未受診の状況を確認、併せて子育ての相談などを行い、その結果を保健師に報告、見守り活動を行っています。

私たち主任児童委員の活動は、今後も更に自己を成長させていくものと、地域の皆様の一助になると信じて、皆様に寄り添った活動を行っていきます。

皆さんどうぞ気軽に声を掛けください。

## 日頃の防災意識

今回、防災関連シリーズの一つとして、防災アドバイザーの磯田英穂さん(豊岡第一在住)に話を伺いました。

まず、「伝える防災」において、次の項目を日頃から確認、認識しておく事の大切さを教えられました。①近くに公園があるか、②公園に水道があるか、③公園に防災倉庫があるか、④他に災害(地震)が起きることを認識しているか等、いざ災害等が発生すると時間帯に関わらず混乱するので、常に行動する意識を備えておく事や避難場所(一次的に逃げ込む先(体育館、公園等))と避難所(逃げ込んだ後、一定期間、避難生活が出来る場所(学校の体育館、公民館等))を充分区別して認識して行動する大切さを学びました。

また、避難グッズは色々あるが、組み立て式段ボールベッド、簡易トイレ、水ろ過機、太陽光ランタン、保存食(缶詰レトルト含)等々、意外と我々がキャンプで使用する品々の利用で応用がきく等、参考にした実情でありました。

他方、「令和4年度入間市防災訓練」の回覧で、安否確認訓練、避難訓練、共助訓練(初期消火、負傷者搬送訓練等)、避難所開設・運営訓練の詳細が記されており参考にしたものです。詳しく知りたい人は、市危機管理課まで連絡下さいとの事です。



## 私の防災バック

新聞やテレビなど防災について目や耳に触れることはありますが、何をどのように準備したら良いかと思えます。数週間分としても食糧の蓄えは大変かなと思いますし、蓄えたら安心して置いておき、とうに賞味期限または消費期限が切れているものがあつたという経験したことがあります。防災商品セットを家族分あつてもいざという時持ち出せるのかと思うこともあります。そんな時、SNSで大切なものをウエストポーチ(バッグ)に入れて置くという災害経験者の記事を読みました。私にとって大切なものは他の物と代替えができない例えば薬などです。

診察券や薬入れ、身分証明書、カードなどを分けまわしました。それらの入ったウエストポーチを少し大きなリックに入れ、病院や市役所へそのまま持ち歩いています。便利で普段使いのできるものは災害時そのまま持ち出しできると思いペットボトルやカッターパン、ハチミツ瓶なども入れていきます。

また、電話はメールの方が繋がったとかコレクトコールは繋がりがやすいなど普段の会話で情報交換、家族間での決め事も必要と思われれます。

災害の時の用意は日常の中で使えるのがいい、日常生活の中で災害の事を考える必要があると思っています

## 地域での活動

### 高齢者サロン

#### 「えくぼの会」の開催

(豊岡第二地区)

ボランティアとして、高齢者ふれあいサロン「えくぼの会」を毎月第二水曜日に東町公民館で開催しています。毎回の参加者は20〜30名。『座ってできるヨガ』『クリスマスコンサート』などのメインイベント、地域包括支援センターからのミニ情報、お誕生日の人へのプレゼントとハッピーバースデーの歌など、多彩な催し物を開催して講師の方や参加者の皆さんとの交流を深めるお手伝いをしています。スタッフは約20名、事前・当日の準備、片づけ等皆で協力して楽しく活動しています。



今後、誰もが安心して暮らしていける地域づくり、仲間づくりの場として、一人暮らし高齢者の孤立感の解消、介護や認知症予防など高齢者の生活質の向上のために協力していきたいと思っています。

## オレンジカフェ

### (認知症カフェ)

#### 地域包括支援センター(豊岡地区)

豊岡北地域包括支援センターが主催する「オレンジカフェとよきた」に参加しました。認知症に関心のある方や家族、友人、介護に携わる方などなだでも気軽に参加できます。今回はあやとりの講習会を実施、そのあと参加者の自己紹介、近況報告等で楽しく過ごしました。「オレンジカフェとよきた」は偶数月に開催しています。

場所は武蔵豊岡教会、参加費百円、問い合わせは豊岡北地域包括支援センター(TEL04-2901-2501まで)。



## 訃報

入間市民生委員・児童委員協議会前副会長、築地芳枝さん(享年80)が去る12月21日、逝去されました。永年のご活躍に敬意を表するとともに、ご冥福をお祈りいたします。

## 編集後記

令和4年12月1日付けで入間市民生委員・児童委員協議会役員が決定し、江口新会長を中心とした協議会が、また、今年1月25日の各部会役員選出会議で7部会の活動もスタートしました。その間、振り返ってみますと、令和2年に入って、新型コロナウイルスの影響で不要不急の外出自粛要請や越境移動自粛関連が追加され、また、飲食店等の営業の自粛要請等があり、国民の日頃の行動制限が続いてきました。

70号(本号)は一斉改選関連をメインテーマとして来ましたが、広報部会も例にもれずコロナ関連で行動制限が続きました。編集会議開催も中止に追い込まれたり、役員のみで喫茶店で方向性を決めたりしながら、全戸配布を目標に作業をして来ましたが、昨年の12月新役員の決定状況を確認しながらの記事依頼や、1月の広報部会部員の交代等で慌ただしい作業が続きました。編集委員の皆様には最後まで校正をお願いし、今日発行に至りました。

今後はコロナの終息を願って、市民の皆様の身近な活動や問題等を取り上げ、紙面の充実を計っていきたく思います。ご協力のほどお願い申し上げます。

令和5年3月1日

民生委員・児童委員広報部会長

山本将文